

# 施策評価シート

評価実施年度：令和元年度

幹事部局

地域振興部

施策の名称	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり
施策の目的	中山間地域に今後も安心して住み続けることができるよう、県・市町村・県民の力を結集して「小さな拠点づくり」を進めます。
施策の現状 に対する評価	<p>(「小さな拠点づくり」の取組状況)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中山間地域に安心して住み続けるため、公民館エリアを基本に住民同士の話し合いを通じて地域運営の仕組みづくり、課題解決のための実践活動に取り組む「小さな拠点づくり」を推進している。</li><li>・住民の機運醸成、話し合い、計画の策定や実践活動を進めるため、地域への訪問や広報媒体を活用して「小さな拠点づくり」への理解促進に努め、地域の話し合いに直接参加しての助言や地域の活動への支援を行ってきた。</li></ul> <p>(取組の成果と評価)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年度末時点で「小さな拠点づくり」に取り組んでいる公民館エリアは全236地区のうち半数の118地区、そのうち実践活動に取り組んでいる地区は111地区となっている。</li><li>・平成30年度に実施した調査によると「高齢者の見守り」や「防災・防犯活動」など比較的取り組みやすい活動は多くの地域で実施されているが、生活交通の確保や空き家の利活用など新たな仕組みや担い手が必要な活動に取り組む地域は比較的少ない。少子化・高齢化が進み、また、活動への参加者が住民の一部に限られているため、地域活動の担い手が不足している。</li><li>・さらに、公民館エリアにおける日常生活に必要な機能・サービスは、2,000人程度の人口規模があるエリアでは概ね維持されているが、人口規模が小さくなるにつれて失われつつあり、人口減の進んだ地域での生活機能（生活交通を含む）の維持・確保が急務である。</li></ul>
今後の取組み の方向性	<p>(「小さな拠点づくり」の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中山間地域での生活機能の維持・確保のため、公民館エリアを基本に、住民参加による地域の課題に応じた実践活動の着手、充実を促し、支援する。</li><li>・人口が少なく単独のエリアで活動の実施や担い手の確保が困難な場合、複数エリア連携による取組を推進する。</li><li>・「小さな拠点づくり」を広く波及させるため、「モデル地区」を選定して複数エリア連携による取組に直接関わりつつ重点的に支援し「小さな拠点づくり」の具体的な姿をわかりやすく県民に示す。</li></ul>

施策に関連する指標の一覧

施策の名称	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり
-------	------------------

施策の目的達成に向けて取り組む事務事業において設定している主な成果参考指標

項番	施策の成果参考指標	指標名	平成27年度	平成30年度		令和元年度	単位
			実績値	目標値	実績値	目標値	
1	○	「小さな拠点づくり」を進めている公民館エリア数（累計）	59.0	126.0	118.0	150.0	エリア
2	○	機能・サービスの集約化に向けた実践活動を開始する公民館エリア数（累計）	0.0	38.0	25.0	50.0	エリア
3	○	地域資源を活かした特産品開発等に積極的に取り組む事業者数（累計）	9.0	24.0 (12.0)	35.0	29.0 (15.0)	事業者
4		共同研究成果を地域づくりに活用した地区数	—	20.0	15.0	20.0	箇所
5		研修会等の内容が地域づくり等に役立ったと思う参加者の割合	—	80.0	96.7	80.0	%
6		中山間地域研究センターの研究成果等を活用して支援する地区数（累計）	—	100.0	86.0	130.0	地区数
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

事務事業の一覧

施策の名称	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり
-------	------------------

	事務事業の名称	目的 (誰(何)を対象として、どういう状態を目指すのか)	前年度 事業費 (千円)	今年度 事業費 (千円)	所管課名
1	中山間地域総合対策推進事業 (「小さな拠点づくり」推進事業)	中山間地域が抱える様々な課題に対して対策を講じ、住民のみなさんが安心して住み続けることができるようにする。	132,248	256,270	しまね暮らし推進課
2	中山間地域対策総合調整事業	中山間地域対策関連事業の円滑な実施	3,290	6,014	しまね暮らし推進課
3	中山間地域研究センター事業	中山間地域における現状の把握と解決策を研究し、中山間地域の活性化の取組みに役立ててもらおう。	25,373	38,307	しまね暮らし推進課
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり
-------	------------------

1 事務事業の概要

担当課	しまね暮らし推進課
-----	-----------

名称	中山間地域総合対策推進事業（「小さな拠点づくり」推進事業）				
目的	誰（何）を対象として	中山間地域住民	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	中山間地域が抱える様々な課題に対して対策を講じ、住民のみなさんが安心して住み続けることができるようにする		うち一般財源	132,248
今年度の取組内容	○第4期中山間地域活性化計画(平成28年度～令和元年度)に基づき「小さな拠点づくり」の取組みを推進 ・公民館エリアを基本とし、住民同士の話し合いを通じて、地域運営（「生活機能」「生活交通」「地域産業」）の仕組みづくりと、これらを担う「人づくり」に取り組む ・地域課題に応じて中山間地域対策プロジェクトチームのメンバーが地域に出向き専門的な知見から課題解決に向けた支援を行う				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	・「小さな拠点づくり」に対する県民の理解が高まり、取組が進むよう、必要性、手法、取組事例等について新聞（5回連載）、テレビ（30分テレビ番組）、イベント（（公財）ふるさと島根定住財団との共催による「地域づくりオールスター祭」）の開催等を通じて広く広報を行った。				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
1	指標名	「小さな拠点づくり」を進めている公民館エリア数（累計）	目標値	59.0	77.0	102.0	126.0	150.0	エリア
	式・定義	「小さな拠点づくり」に取り組んでいる公民館エリア数	実績値	59.0	93.0	102.0	118.0		
			達成率	100.0	120.8	100.0	93.7	-	
2	指標名		目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	

「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など

○236の全公民館エリアに訪問、「小さな拠点づくり」の説明や地域の現状の聞き取り等を実施し、機運を醸成  
 ○中山間地域研究センターに配置した任期付研究員や中間支援組織を活用した現場支援を実施し、地域の計画づくりや実践活動への支援を実施  
 ・任期付研究員（7名）  
 ・公民館等連携スタッフ（5名）  
 ・中間支援組織  
 【出雲市須佐・窪田】特定非営利活動法人スサノオの風、【雲南市飯石、掛合、吉田、民谷】（一社）スクナヒコナ、【奥出雲町三成】櫛工ブリプラン、【美郷町都賀本郷】櫛シズ総合政策研究所  
 ○地域資源を活用した特産品開発に新たに取組んだ事業者 12事業者

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度に公民館等連携スタッフを2名増員し、中山間地域研究センターの研究員等とともに同年度に全236地区を訪問して、公民館エリアの機能確保の状況等を調査し各地区の現状や課題を把握するとともに、繰り返し「小さな拠点づくり」の啓発に取り組んだ。</li> <li>その結果、「小さな拠点づくり」に取り組んでいる（「計画を策定済」又は「計画に基づく実践活動を実施中」）公民館エリアは、16地区増加し、計118地区となった。さらに、そのうち実践活動に取り組んでいる公民館エリアは、28地区増加し、計111地区となった。</li> </ul>
課題分析	① 「目的」の達成のため（又は達成した状態を維持するため）に支障となっている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>「小さな拠点づくり」に向けた住民の議論や取組が進まない地域がある。</li> <li>「小さな拠点づくり」に必要な地域の担い手が確保できず、また、活動を開始しても継続できない地域がある。</li> </ul>
	② 上記①（課題）が発生している原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>「小さな拠点づくり」の必要性、取組事例、手法等の周知が不足している。</li> <li>「小さな拠点づくり」に向けた計画の策定や実践活動の実施に当たっては、住民同士での丁寧な議論と十分な意思疎通が必要があり、取組を進めるには相応の時間が必要である。</li> <li>実践活動の担い手が不足し、また、支援する市町村のスキルが不足している。</li> </ul>
	③ 上記②（原因）の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民に向けた広報に継続的に取り組み、「小さな拠点づくり」への県民の理解を促進する。</li> <li>引き続き地域を訪問し、「しまねの郷づくり応援サイト」を活用しつつ地域の現状や将来の見通し、「小さな拠点づくり」の必要性や手法等について丁寧に説明するとともに、地域での話し合い、計画づくりや具体的な活動の開始・充実に向けた助言、支援を行う。</li> <li>地域おこし協力隊を含む地域の担い手の育成・確保や市町村職員のスキルアップに向けて、研修会等を実施する。</li> <li>地域と企業等が協働して生活機能の確保に取り組む新たなビジネスモデルの構築に向け実証を行う。</li> </ul>

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり
-------	---------------------

1 事務事業の概要

担当課	しまね暮らし推進課
-----	-----------

名称	中山間地域対策総合調整事業				
目的	誰(何)を対象として	中山間地域住民	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	中山間地域対策関連事業の円滑な実施		3,290	6,014
			うち一般財源	900	1,014
今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国5県相互の連携事業</li> <li>中山間地域の課題に対し、広域的な連携を図るため中国地方知事会での「共同研究」、「共同事業」を実施する。</li> </ul>				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>5県の地域おこし協力隊を対象とした共同研修会だけでなく、5県の中山間地域対策担当の行政職員等を対象としたスキルアップ研修等を開催し、職員の資質向上を図ることとした。</li> </ul>				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
1	指標名	共同研究成果を地域づくりに活用した地区数	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	
			(取組目標値)					
	式・定義	共同研究成果を活用し活動や事業を実施した地区数	実績値	16.0	18.0	15.0		
			達成率	80.0	90.0	75.0	-	%
2	指標名	研修会等参加者のアンケート結果	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	
			(取組目標値)					
	式・定義	地域づくり等を行う上で役立ったと思う参加者の割合	実績値	99.2	97.5	96.7		
			達成率	124.0	121.9	120.9	-	%

「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など

○共同研究

・中国地方知事会中山間地域振興部会(事務局：島根県)において、中国地方5県が共同して中山間地域が抱える共通の課題について調査・研究を実施

・H30テーマ「中間支援組織と協働した地域づくり支援手法」

・成果報告書の作成・配布(R1.6月頃)。成果報告会の実施(R1.8月頃予定、於松江市)

○共同事業

・中国地方の地域おこし協力隊員を対象とした共同研修会を実施

・H30.10.20～21開催(於広島県神石高原町、参加人数：20日 約200名、21日 約50名)

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国5県の共同研究について、平成30年度は15地区において研究成果を説明し、地域での活用を推進した。市町村等の6件の研修会等で情報提供を行い、中山間地域支援策への活用推進を図った。</li> <li>中国5県の地域おこし協力隊を対象とした共同研修会は、「里山資本主義」をテーマにした広島県神石高原町等主催のイベントと併せて開催したことで、前年度より参加者を増加することができた。また、参加者の満足度は、引き続き9割を超えており、有意義な研修会を実施できた。</li> <li>協力隊OB、OGによる「しまね協力隊ネットワーク」と連携し、県内の協力隊を対象とした研修会、交流会等を開催し、協力隊の技能向上、ネットワークづくりを推進した。</li> </ul>
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地域における中国5県共通の課題として、人口減少、高齢化等により地域運営が困難になりつつある状況にある。</li> <li>地域おこし協力隊は地域や行政職員とのコミュニケーションや任期後の就業(起業)をどうするか、行政職員は地域おこし協力隊の受入体制の整備等(受入準備、個別スキルを高めるための研修会開催、事例紹介、定住対策等)について不安を抱えている。</li> </ul>
	② 上記①(課題)が発生している原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少、高齢化等の進む中で地域の担い手が地域を維持していくためのノウハウや、担い手の取組を支援する市町村のスキルが不足している。</li> <li>市町村が地域おこし協力隊や受入地域に対して、地域おこし協力隊を導入するねらい、役割、具体的な業務内容、任期後の定着パターンを提示できていないことが多く、結果、そのことが協力隊・行政双方の不安要素を生み出している。</li> </ul>
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>H30年度の共同研究の成果報告会等を開催し、地域運営の手法として有効な中間支援組織の活用等に関する知見・ノウハウを5県の地域づくり団体、市町村等に普及する。</li> <li>協力隊活動及び任期後の定着をサポートするため、ふるさと島根定住財団とも連携し、協力隊の任期後に向けたキャリアアップ、市町村職員の協力隊の円滑な受入等に資する研修や情報提供を行うほか、今後の協力隊に対する支援のあり方について引き続き検討する。</li> </ul>

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり
-------	------------------

1 事務事業の概要

担当課	しまね暮らし推進課
-----	-----------

名称	中山間地域研究センター事業				
目的	誰(何)を対象として	中山間地域住民・団体、行政担当者等	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	中山間地域における現状の把握と解決策を研究し、中山間地域の活性化の取り組みに役立ててもらう。		25,373	38,307
今年度の取組内容			うち一般財源	25,207	30,133
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域研究センター研究事業： 中山間地域における各種課題把握及び解決策を明確化するための実証実験も含めた研究</li> <li>・中山間地域研究センター研修事業： 中山間地域におけるリーダー等育成のための研修実施</li> <li>・中山間地域研究センター情報事業： 中山間地域の活性化に資するための情報提供</li> <li>・中山間地域研究センター支援事業： 中山間地域の活性化に資するために研究成果を普及</li> </ul>				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域実態調査により中山間地域の現状を把握し、今後の調査研究のあり方を検討するためのデータを整理した。</li> </ul>				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
1	指標名	研究成果あるいは、センターが有している地域支援の手法等を活用して支援する地区数(累計)	目標値		40.0	70.0	100.0	130.0	地区数
	式・定義	中山間地域対策プロジェクトチームによる現場支援、及びそれ以外に地域からの要望等により支援を行う地区数(累計)	(取組目標値)						
			実績値		36.0	68.0	86.0		
			達成率	-	90.0	97.2	86.0	-	
2	指標名		目標値						
	式・定義		(取組目標値)						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	
<p>「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など</p> <p>○「小さな拠点づくり」に向けたスキルアップ研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政担当者研修会・人口推計研修・オープンデータ利活用研修・スキルアップ研修計5回 参加者数(延べ)239名(内 行政関係者223名、内 一般等16名)</li> </ul> <p>○中山間地域専門の研究機関として、県内外からの視察や講演依頼に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30視察受入件数14件(県内4、県外10)</li> <li>・H30講演依頼件数27件(県内14、県外13)</li> </ul>									

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度にセンターの研究成果や地域支援の手法を活用して支援を行った地区は、現場支援(継続的かつ総合的な支援)地区が10地区、中間支援組織による現場支援地区が8地区、その他の支援地区が29地区の計47地区となった。うち新規に支援を行った地区は18地区で、これまでの累計で支援した地区は86地区となった。</li> <li>・平成29~30年度の中国5県共同研究「若者世代に選ばれる中山間地域の創り方」の成果に基づき生じた新たな課題に柔軟に対応し、より詳細な分析を行うため、「若者世代定住要因調査」に着手している。</li> </ul>
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域を取り巻く環境は厳しさを増し、地域コミュニティの維持や、買い物など日常生活に必要な機能・サービスの確保が困難となる集落は増加しているが、中山間地域の活性化、小さな拠点づくりの進展に有効な調査研究の実施、成果の普及は十分とはいえない。</li> </ul>
	② 上記①(課題)が発生している原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域の多岐にわたる課題について効率的に解決策等を調査研究し、成果を提言し、地域への支援につなげることのできる体制が確保されていない。</li> <li>・調査研究の成果が県民にとってわかりにくいものが多く、地域での活動や行政の支援策に十分に活用されていない。</li> </ul>
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期中山間地域活性化計画の策定に併せ、中山間地域活性化策の立案、実施に繋がる中長期的な調査研究と成果普及のあり方について検討を行う。</li> </ul>